

日本学校心理学会第 17 回大会大阪大会プログラム<2 号通信>

梅雨入りのニュースも聞かれるようになってきました。

会員の皆様はいかががお過ごしでしょうか？この度、7 月 18 日、19 日の第 17 回大会には多数のお申し込みを頂き誠にありがとうございます。さて、大会の詳細について以下のようにお伝えします。みなさまのおかげで、リレー講演・基調講演、ポスター発表 75 件、企画シンポジウム、自主シンポジウム 7 件、ランドセッションと多様で豊かなプログラムになりました。一緒に楽しく学びましょう！ぜひご参加頂きますようよろしく申し上げます。

日本学校心理学会 第 17 回大会実行委員長 水野治久

1 日程

2015 年 7 月 18 日 (土)

<p>9 時 30 分～ 9 時 50 分 開会式</p>	<p>10 時～12 時 リレー講演 子どもの多様な援助 ニーズ 石隈利紀先生 石塚謙二先生</p>	<p>昼食</p>	<p>13 時 30 分～15 時 30 分 実行委員会シンポジウム「チ ーム援助」</p>	<p>15 時 30 分～ 17 時 30 分 ポスター発表①</p>	<p>18 時～19 時 30 分 学会バル ビアパーティ</p>
			<p>13 時 30 分～15 時 30 分 自主シンポジウム①</p>		

2015 年 7 月 19 日 (日)

<p>9 時 ～10 時 総会</p>	<p>10 時～12 時 基調講演 竹内和雄先生 スマートフォン、 インターネットに よる「いじめ」を 考える</p>	<p>昼食</p>	<p>13 時～15 時 ポスター発表②</p>	<p>15 時 15 分～17 時 15 分 ランドセッション：多様な援助ニ ーズを考える ① 面前 DV の被害の子どもを支援す る 藤木美奈子先生 ② 学級作りと学校心理学 金大竜先生 ③ 多様化する不登校児童生徒 伊藤美奈子先生</p>
			<p>13 時～15 時 自主シンポジウム②</p>	

2 会場 大阪教育大学天王寺キャンパス

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町 4-88
JR 天王寺駅，地下鉄天王寺駅，徒歩約 8 分
近鉄大阪阿部野橋駅下車，徒歩約 10 分
JR 寺田町駅下車，徒歩約 4 分



3 内容

1) 基調講演 (学校心理士資格更新Aポイント)

講師 竹内和雄先生 (兵庫県立大学准教授)

演題 『スマートフォンやネット上での「いじめ」を考える (仮題)』

竹内和雄先生は，スマートフォンやインターネット上でのいじめについて近年多くの媒体を通して積極的に発言されておられます。様々な現場に介入しながら，実践的な研究をされています。欧州のいじめについても大変お詳しい先生です。

2) 総会

今後の学会運営を決定する大切な会です。会則に基づき，各種表彰も行う予定です。

3) リレー講演 (学校心理士資格更新Aポイント)

講師 石隈利紀先生 (日本学校心理学会理事長・筑波大学副学長)

石塚謙二先生 (大阪府豊能町教育長・元文部科学省特別支援教育調査官)

演題 (仮題)「子どもの多様な援助ニーズを考える」

子どもの多様な援助ニーズにどのように応えるのかについて，学校心理学・特別支援教育の視点からお二人の先生にご講演いただきます。

4) ラウンドセッション(学校心理士資格更新Bポイント)

多様な援助ニーズを持つ子どもにどのように援助するかについて，3つのセッションをご用意しました。

「面前DVの被害の子どもを支援する」 藤木美奈子先生 (一般社団法人WANA 関西代表理事，
関大大学院，立命館大学の非常勤講師)

「学級作りと学校心理学」 金大竜先生 (大阪市公立小学校教諭)

「多様化する不登校児童生徒」 伊藤 美奈子先生 (奈良女子大学大学院教授)

5) 実行委員会企画シンポジウム (学校心理士資格更新Bのポイント)

テーマ:「多様な子どもを援助する仕組みーチーム援助を考えるー」

趣旨: 学校心理学のチーム援助がどのように子どもの多様な援助ニーズに貢献するか.このテーマで研究している会員によるシンポジウムを行います。

登壇予定者: 田村節子 (東京成徳大学), 家近早苗 (大阪教育大学), 本田真大 (北海道教育大学), 山口豊一 (跡見学園女子大学), 水野治久 (大阪教育大学)

6) 学会バル(ピアパーティ)

会場近くのホテルを予定しております。立食パーティーを予定しております。会場の関係で先着 90 名様までですので，お早目にお申し込みください。

7) ポスター発表

7月18日(土曜日) 15時30分～17時30分

<心理・社会面>

I-01	小学生の登校状況によるレジリエンスの違い 五十嵐哲也(愛知教育大学)・小林朋子(静岡大学)
I-02	中学校新入生宿泊行事を通じた学校適応支援の実践研究—予期不安の変化とその後の学校適応感との関連 佐々木聡(松蔭中学校・高等学校)
I-03	児童期における健全な自尊心の形成要因-家族・教師・友達との関わりと失敗の原因帰属との関連から 内田浩子(北本市立南小学校)・沢崎俊之(埼玉大学)
I-04	児童福祉施設における小学生の対人葛藤解決方略の特徴—インタビューによる検討— 坪井裕子(人間環境大学)・鈴木伸子(愛知教育大学)・五十嵐哲也(愛知教育大学)・松本真理子(名古屋大学)・森田美弥子(名古屋大学)
I-05	授業中の意見相違場面における小学生の解決方略に関する検討—学校生活スキルと学級生活満足感との関連から— 鈴木伸子(愛知教育大学)・五十嵐哲也(愛知教育大学)・坪井裕子(人間環境大学)松本真理子(名古屋大学)・森田美弥子(名古屋大学)
I-06	女子大学生における食行動異常の関連要因について 新彩子(跡見学園女子大学大学院)・山口豊一(跡見学園女子大学)

<学習面・進路面>

I-07	高校生の語彙力についての検討—日本語基礎学力テストを用いて 澤口真理(三重大学大学院教育学研究科)・瀬戸美奈子(三重大学教育学部)
I-08	教職課程「児童生徒指導論」の実践研究-「石隈・田村式援助チームシート」を活用して 攪上哲夫(東京福祉大学)
I-09	小学校通級指導教室での実践を通じた発達障害児への学習支援に関する検討 福元理英(名古屋大学)・竹内稲子(知多市立八幡小学校)・野村あすか(名古屋大学)・酒井貴庸(名古屋大学)・野邑健二(名古屋大学)
I-10	インターネット上のコミュニケーションスキルトレーニング—定時制高校生の感情・認知・行動に焦点を当てた介入の試み 本田真大(北海道教育大学函館校)
I-11	生徒の教師指導行動認知と学級認知に関する研究—しらけた学級に着目して 長谷彩加(高砂市立宝殿中学校)・水野治久(大阪教育大学)
I-12	工業高校生の進路選択要因の検討 高橋知己(上越教育大学)・石垣幸史(上越教育大学大学院学校教育研究科)

<ヘルパー>

I-13	特別支援教育場面で支援者が支援対象児のリソースを発見することにより心理的効果の検討 鹿子田睦月(跡見学園女子大学大学院)・山口豊一(跡見学園女子大学)
I-14	学校支援ボランティアとのかかわりと動機づけとの関連—学校支援地域本部事業の成果として 岡田涼(香川大学)・大久保智生(香川大学)・時岡晴美(香川大学)
I-15	教育相談コーディネーター養成に関する実践的研究—高等学校における生徒支援コーディネーター養成研修の成果と課題 今西一仁(高知県心の教育センター)
I-16	教師が抱く信頼感と職場環境との関連—年代による検討 古田伸子(磐田市立豊岡中学校)・五十嵐哲也(愛知教育大学)
I-17	校内適応指導教室の役割—通室生徒のインタビューより 諸戸美奈子(鈴鹿市立白子中学校)・瀬戸美奈子(三重大学教育学部)

<一次的援助サービス>

I-18	学生の困り感に対する援助モデルの作成および援助活動報告Ⅱ-新入生に対するサポート体制とその評価 西村昭徳（東京成徳大学）・田村節子（東京成徳大学大学院心理学研究科）・新井邦二郎（東京成徳大学）・渡部雪子（東京成徳大学）・菊池春樹（東京成徳大学）
I-19	中学校における予防教育実践を通じた生徒の変化——仲間間のサポートに着目して—— 江角周子（筑波大学大学院）・庄司一子（筑波大学）
I-20	児童の学校生活スキルが居場所感及び学校適応感に与える影響 奥田奈津子（跡見学園女子大学大学院）・山口豊一（跡見学園女子大学）
I-21	高校生対象心の減災教育プログラムの開発（1）—プログラム概要と教員評定— 鈴木美樹江（金城学院大学）・窪田由紀（名古屋大学大学院）・坪井裕子（人間環境大学）・山下陽平（名古屋大学大学院）・笠井祥穂（名古屋大学大学院）・松本真理子（名古屋大学）・森田美弥子（名古屋大学）
I-22	中学生の保護者の援助ニーズが相談意志・相談経験に及ぼす影響 ～保護者の心配を媒介として～ 山崎沙織（筑波大学人間総合科学研究科）・飯田順子（筑波大学人間系）
I-23	性教育に対する高校生のニーズ-事後評価からの検討 橋本富子（森ノ宮医療大学）・川村千恵子（甲南女子大学）

<カウンセリング・コンサルテーション>

I-24	不登校におけるチーム援助の実践と課題-A 市小学校への調査をもとに 野口智世（三重大学大学院）・瀬戸美奈子（三重大学教育学部）
I-25	悩みを抱えたとき、どうしてほしいのか？-北海道僻地の高校生への質問紙調査から 伊藤詩菜（北海道大学大学院教育学院）
I-26	小学校から中学校への進学を支援するスクールカウンセラーの活用 下温湯まゆみ（華頂短期大学）
I-27	ある私学における体制作り-特別支援教育の校内委員会の発足 一ノ瀬秀司（大妻中学高等学校）
I-28	大切な人を亡くした子どもへの教師の対応について（3） 茅野理恵（信州大学）・小林朋子（静岡大学）
I-29	学校危機を想定したシミュレーション訓練に関する研究 小林朋子（静岡大学）・鈴木秀和（静岡県教育委員会）・渡辺弥生（法政大学）・西山久子（福岡教育大学大学院）

<アセスメント>

I-30	小学生いじめ観尺度の作成 四辻伸吾（大阪教育大学附属平野小学校）・水野治久（大阪教育大学）
I-31	大学生の不安感受性およびその心理的特徴 -パニック発作の症状と不安感受性尺度およびMMPIとの関連から 大鐘要（名古屋市役所）・大鐘啓伸（名古屋女子大学）
I-32	児童用学校適応感測定尺度開発の試み 河村智美（兵庫教育大学大学院）・浅川潔司（不登校回復支援センター）・佐々木聡（松陰中学校・高等学校）・真田穰人（広島大学大学院）・南雅則（宝塚市立光ヶ丘中学校）
I-33	小学校1年生の「気になる」特徴に対する保護者と担任の認識 野村あすか（名古屋大学）・酒井貴庸（名古屋大学）・福元理英（名古屋大学）・野邑健二（名古屋大学）
I-34	児童養護施設における子どもの育ちを支える心理教育プログラムの効果 米澤由実子（名古屋大学大学院）・坪井裕子（人間環境大学）・三後美紀（人間環境大学）・柴田一匡（名古屋大学大学院）・窪田由紀（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
I-35	漢字書字に困難を示す中学生徒への有効的な指導方法の検討-認知機能特性に基づいた学習方法の効果 徳吉每美（東京家政大学大学院）

7月19日（日曜日）13時～15時

<一次的援助サービス①>

II-01	高校生対象心の減災教育プログラムの開発（2）-プログラム実施後の自由記述分析 笠井祥穂（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）・坪井裕子（人間環境大学）・窪田由紀（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）・鈴木美樹江（金城学院大学心理臨床相談室）・山下陽平（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）・二宮有輝（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）・能村由希乃（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
II-02	中学生に対するソーシャルサポートが共同体感覚及び学校適応感に与える影響 久野優実（跡見学園女子大学大学院）・山口豊一（跡見学園女子大学）
II-03	児童の自己意識的感情に働きかけるPC自己学習教材の作成-TOSCA (Test Of Self Conscious Affect) をベースに- 東原文子（聖徳大学）・戸祭あゆみ（岩槻市立城西中学校）・染谷夏美（聖徳大学）
II-04	登校回避感情を抱く中学生の登校規定要因の検討-中国公立中学校を対象として- 王巖崧（筑波大学大学院人間総合科学研究科）・庄司一子（筑波大学人間系）
II-05	アメリカのスクールサイコロジストの役割・機能に関するフィールド調査～高校における道徳教育・キャリア教育の実践を中心として～ 横張亜希子（埼玉県教育局）・醍醐身奈（昭和女子大学大学院）・渡邊祐子（昭和女子大学大学院）・池田真依子（カリフォルニア州公認SP）・飯田順子（筑波大学人間系（附属学校教育局））

<一次的援助サービス②>

II-06	ピア・サポート・プログラムにおけるサポート認知指標の検討 雪田彩子（埼玉県スクールソーシャルワーカー）・飯田順子（筑波大学）・西村昭徳（東京成徳大学）
II-07	表情写真を活用したカードゲーム「面探偵困難」の試作 一状況場面に応じた感情の読み取りに焦点をあてて- 田村節子（東京成徳大学大学院）・阿部宏徳（東京成徳大学大学院）・栗本顕（東京成徳大学大学院）
II-08	学校臨床における構成的グループエンカウンターの内容分析 1-実施目的、対象、実施者、演習内容、効果検証方法に着目して 山下陽平（名古屋大学大学院）・相澤亮雄（福岡県スクールカウンセラー）・窪田由紀（名古屋大学大学院）・張彩虹（福原学園）・梶原律子（九州産業大学大学院）・稲田尚史（九州産業大学）
II-09	学校臨床における構成的グループエンカウンターの内容分析 2～実施目的「人間関係促進」と演習の対応関係に着目して～ 相澤亮雄（福岡県教育委員会）・山下陽平（名古屋大学大学院）・窪田由紀（名古屋大学大学院）・張彩虹（福原学園）・梶原律子（九州産業大学大学院）・稲田尚史（九州産業大学）
II-10	学校臨床における構成的エンカウンターグループの内容分析 3-実施目的「他者理解」と演習の対応関係に着目して 梶原律子（九州産業大学）・山下陽平（名古屋大学大学院）・相澤亮雄（福岡県スクールカウンセラー）・窪田由紀（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）・張彩虹（福原学園）・稲田尚史（九州産業大学）
II-11	学校臨床における構成的グループエンカウンターの内容分析 4-実施目的「自己の特性の理解」と演習の対応関係に着目して 稲田尚史（九州産業大学）・山下陽平（名古屋大学大学院）・相澤亮雄（福岡県スクールカウンセラー）・窪田由紀（名古屋大学大学院）・張彩虹（福原学園）・梶原律子（九州産業大学大学院）
II-12	小学校の通常学級におけるユニバーサルデザインに関する実態調査 宮木秀雄（山口学芸大学）

<心理・社会面>

II-13	東日本大震災による避難児童への学校における取組 - 児童の変化を中心に 竹川佳津子（加須市教育委員会）
II-14	中学生の社会的スキル、学校生活適応感および自尊感情に関する研究 荒嶋千佳（跡見学園女子大学大学院）・山口豊一（跡見学園女子大学）
II-15	児童の物語作文にみる想像力の発達 今村七菜子（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
II-16	中学生のいじめ行動と Callous and unemotional traits (CU 特性) の関連 青山郁子（静岡大学）・杉本希映（目白大学）・飯田順子（筑波大学）・遠藤寛子（筑波大学）
II-17	へき地・小規模校での中学校生活が生徒の社会性の発達に及ぼす影響-生徒と教師双方への聞き取り調査から 山田真里（名古屋大学大学院）・窪田由紀（名古屋大学大学院）
II-18	女子大学生における自傷行為を行う友人に対する態度 悉知弥生（跡見学園女子大学大学院）

II-19	「友だちグループ」間の関係性が教室への居心地の良さに与える影響-社会的支配志向性（SDO）への媒介過程に注目して 水野君平（北海道大学大学院教育学院）
II-20	ひとり遊びから仲間との遊びへの変容-仲間入り場面における保育者の役割に着目して 西川佳那（三重大学大学院）
II-21	学習の態度プロフィールと学年との連関および学校間差の検討 兒玉裕巳（筑波大学大学院）・石隈利紀（筑波大学）
II-22	協同学習が児童の学習意欲に及ぼす影響-被受容感と児童同士の相互作用に着目して 真田穰人（大阪市立新高小学校）・栗原慎二（広島大学）
II-23	適応指導教室における学生ボランティアの研究-ボランティア活動が与える学生への影響から- 馬場ひとみ（金城学院大学）
II-24	教員養成課程所属大学生の教師効力感の様相と変化-教育実習体験による影響の検討 西尾美紀（神戸大学大学院）
II-25	高校生のキャリア・カウンセリングと学校心理士 吉田恵子（高崎健康福祉大学）
II-26	現実生活と SNS 上における外向性傾向の相違と SNS 上の行動内容との関連 二宮有輝（名古屋大学大学院）・松本真理子（名古屋大学）

<カウンセリング・コンサルテーション>

II-27	米国のスクールサイコロジストの多文化支援 島田直子（筑波大学）・Katie Carrizales（Educational Service Unit #13）・飯田順子（筑波大学人間系（附属学校教育局））
II-28	スクールカウンセラーと協働して進める保健室におけるチーム支援 -コーディネーターとしての養護教諭の実践を通して- 宮永啓子（関西大学北陽高等学校・中学校）
II-29	社会教育施設における教育相談活動-野外教育施設の特徴を生かしたアプローチ 茂呂輝夫（茨城県立結城第二高等学校）・光林智暁（茨城県スクールカウンセラー）・駒木浩二（茨城県守谷市立郷州小学校）
II-30	ろう学校における教育相談の現状と課題 名古屋学（神奈川県立平塚ろう学校）
II-31	教師の学校コンサルテーション有効感の認知に影響を及ぼす質的要因-数量化Ⅰ類による検討 谷島弘仁（文教大学）
II-32	教師のスクールカウンセラーへの相談行動に対する利益とコストの影響②-教師-SC 版利益とコストの尺度の作成 吉田光成（筑波大学大学院）
II-33	大学生の履修行動に関する研究-履修行動の個人差を測定する尺度の作成 服部典子（日暮里わかものハローワーク）・飯田順子（筑波大学人間系（附属学校教育局））

<アセスメント>

II-34	不登校児童・生徒に対する心理教育プログラムについての-考察-複数の実施者によるプログラムの評価と効果の検討 山本彰子（奈良女子大学大学院）
II-35	中学校生徒会リーダーズセミナーにおける心理教育的援助-話し合い学習法による事例から 石上浩美（大手前大学）
II-36	社交不安傾向生徒におけるバウムテストの特徴 安藤希（名古屋大学）・松本真理子（名古屋大学）
II-37	うつ症状のある生徒の対応に関する課題 中津仁志（三重大学大学院）
II-38	協働的援助活動の展開に伴う心理専門職と教師のアセスメントの相互作用に関する検討-仮説モデルの生成 新井雅（健康科学大学）・庄司一子（筑波大学）
II-39	デモンストラーション 大阪教育大学における障がい学生支援 森野宅麻（大阪教育大学大学院）・新田千（大阪教育大学教育学部）・北村早紀恵（大阪教育大学教育学部）・寺坂拓馬（大阪教育大学教育学部）

8) 自主シンポジウム

7月18日(土曜日) 13時30分～15時30分

SI-1	<p>学校における教員による心理教育 — 経緯・実践・結果の報告 —</p> <p>企画者, 話題提供者 松本有貴 (千葉大学)</p> <p>司会者, 話題提供者 石本雄真 (鳥取大学)</p> <p>話題提供者 島寄仁恵 (大阪府摂津市立鳥飼東小学校)</p> <p>指定討論者 戸田有一 (大阪教育大学)</p>
SI-2	<p>通常の学校におけるインクルーシブ教育の現状と課題</p> <p>— 神奈川県・兵庫県芦屋市・上海日本人学校虹橋校における取組から —</p> <p>企画者, 司会者 池谷航介 (大阪教育大学)</p> <p>話題提供者 田中みか 神奈川県教育委員会</p> <p>話題提供者 守本明範 芦屋市教育委員会</p> <p>話題提供者 楠敬太 (大阪大学)</p> <p>指定討論者 井坂行男 (大阪教育大学)</p>
SI-3	<p>世界の学校心理士の役割・機能から日本の学校心理士の役割・機能を考える</p> <p>企画者, 司会者 飯田順子 (筑波大学)</p> <p>話題提供者 西山久子 (福岡教育大学)</p> <p>話題提供者 松本真理子 (名古屋大学)</p> <p>企画者, 話題提供者 池田真以子 (カリフォルニア州公認スクールサイコロジスト)</p> <p>話題提供者 渡辺弥生 (法政大学)</p> <p>指定討論者 瀧野揚三 (大阪教育大学)</p>

7月19日(日曜日) 13時~15時

SII-1	教育相談コーディネーターの役割と研修のあり方 企画者, 指定討論者 大野精一(日本教育大学院大学) 企画者, 司会者, 話題提供者 今西一仁(高知県心の教育センター) 話題提供者 藤原忠雄(兵庫教育大学) 話題提供者 西山久子(福岡教育大学) 指定討論者 中原美恵(東洋大学) 指定討論者 金山健一(県立広島大学)
SII-2	就学前から大学までの一貫した支援教育を目指して — 求められる、支援との出会い・継承・発展を実現する支援者の育成 — 企画者, 司会者, 話題提供者 太田仁(梅花女子大学) 話題提供者 増田崇祥(学校法人増田学園認定こども園今川幼稚園) 話題提供者 伊丹昌一(梅花女子大学) 話題提供者 矢田栄美(堺東高校) 指定討論者 川戸明子(梅花女子大学)
SII-3	学校危機時の養護教諭の役割をめぐって — 生徒の交通事故死を経験した3つの事例から — 企画者, 司会者 窪田由紀(名古屋大学) 話題提供者 大野志保(愛知教育大学附属高等学校) 話題提供者 石川雅健(愛知学院大学) 話題提供者 和田浩平(医療法人仁精会三河病院) 指定討論者 伊藤美奈子(奈良女子大学)
SII-4	子どもたちと心の絆を結べる教師をめざして — 学校現場の事例に基づく、絆を結ぶための原則 — 企画者, 司会者 田中満公子(大阪教育大学) 話題提供者 高井佐千子(大阪府立枚方なぎさ高校) 話題提供者 高橋菜穂子

4 大会発表希望者(ポスター・シンポジウム)及び参加費及び懇親会費について

【予約申し込み:6月末まで】

会員 6,000円 学校心理士有資格者 6,000円
非会員の一般参加者 7,000円
大学院生 会員 4,000円 大学院生 非会員 4,500円
学部学生(会員・非会員ともに) 2,000円

【当日申し込み:7月1日以降は当日申し込み扱いとなります】

一般参加者 会員 6,500円 非会員 7,000円
大学院生 会員 4,500円 非会員 5,000円
学部学生(会員・非会員ともに) 2,000円

【懇親会費】

予約申し込み 3,000円
当日申し込み 4,000円 【7月1日以降は当日申し込み扱いとなります】

※懇親会のみ参加はできません。

※共催(予定)の日本学校心理士会会員の方は、日本学校心理学会会員に準じ会員扱いとします。申し込み時に、学校心理士登録番号が必要となります。また学校心理士の方には、日本学校心理学会「入会金無料キャンペーン中」です!

5 <ポスター発表にエントリーされた先生方へのお願い>

1) 抄録集の原稿について

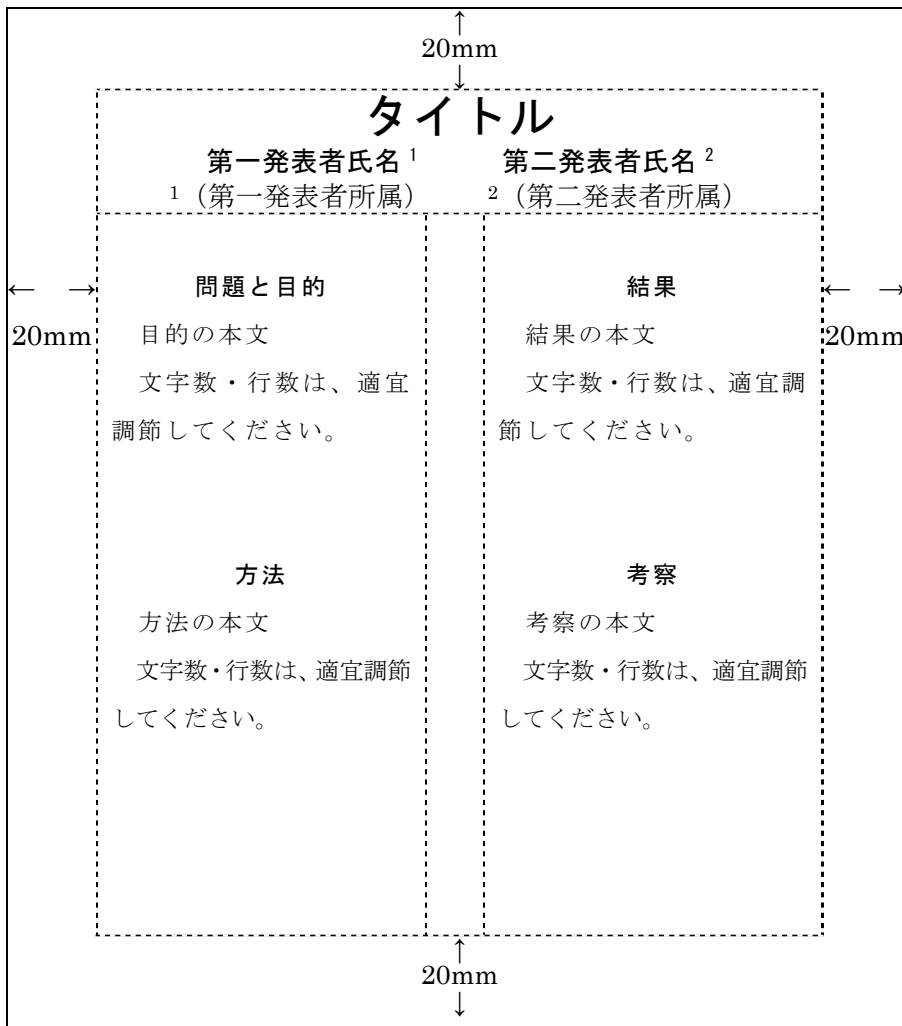
ホームページから、抄録集の原稿をダウンロードし、発表論文抄録を執筆ください。この論文は、この資料だけで資料的な価値が認められるように、題目、お名前、ご所属、目的、方法、結果、考察など科学的な論文としての要件を満たすように執筆ください。

原稿については、テンプレートを下記のページよりダウンロードしてお使いください。(ワードファイル)

<http://schoolpsychology.jp/taikai/past/017/017-01.html#07>

抄録集原稿 投稿締切 6月20日(土) 厳守

PDFでの入稿をお願いいたします。(演題番号等の情報は実行委員会にて、挿入いたします)



<ポスター発表のパネルについて>

ポスターのサイズは175センチ×84センチです。それに収まるように貼り付けてください。また、1メートルくらい離れても見えるように大きな文字で作成ください。

貼り付けに必要な画鋸、テープはこちらで用意します。ポスターは開始30分前から掲示可能です。また、終了後速やかにパネルは外してください。パネル終了30分を経過しても貼り付けているパネルは実行委員会にて処分します。

2) 発表スケジュールについて

以下の通りの発表スケジュールとなります。発表は、ポスターの掲示、責任発表者の方の在籍及び発表、質疑応答をもって発表したこととなります。会員の方との積極的な交流をよろしく申し上げます。

6 自主シンポジウムにエントリーされた先生方へのお願い

1) 原稿について

自主シンポは、題目、話題提供者名、所属、指定討論者氏名、所属を明記の上、シンポジウムの内容を A4 半分のサイズ、400 字程度にまとめて提出してください。この情報を抄録集に掲載します。

原稿については、テンプレートを下記のページよりダウンロードしてお使いください。(ワードファイル)

<http://schoolpsychology.jp/taikai/past/017/017-01.html#08>

抄録集原稿 投稿締切 6月20日(土) 厳守

記載例

<p>シンポジウムのタイトル</p> <p>企画・司会：氏名¹， 話題提供者：氏名²</p> <p>1 (第一所属) 2 (第二所属)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"><p>シンポジウムの概要</p><p>A4 半分 (400 字程度)</p></div>
--

会場にはプロジェクターはございますが、パソコンに関しては設置されている教室とそうでない教室がございますので、パソコンを持参ください。

なお、会場では資料の印刷はできません。

8 大会に関するお問い合わせについて

今回は本学会の会員管理業務等で契約をしております国際文献社に委託し、ヘルプデスクを設けましたのでご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

■学会の内容、発表内容など大阪大会についての問い合わせ

水野治久 (実行委員長) hmizuno@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

家近早苗 (事務局長) iechika@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

■発表・参加申込システム、参加費についてのお問い合わせ

日本学校心理学会第17回大会 ヘルプデスク

e-mail : jsp-desk@kokusaibunken.jp

<http://schoolpsychology.jp/taikai/index.html>